

レディースコンパが開催されました

6月9日（金）に本学医学部在籍中の女子学生による女子学生のための会“レディースコンパ”が約4年ぶりに行われました。

年に一度開催されてきたレディースコンパは、普段講義や実習で忙しい医学部の学生さんにとって、他の学年の先輩や後輩、先生方とお話できる数少ないチャンスです。

当日は、思い思いのスタイルでおしゃれをし、勉強だけでなく部活や趣味のお話などをして交流します。

今回出席された先生方から、「出産や結婚などで、女性医師として仕事との両立が難しいと考えてしまうかもしれないけれども、“Do your best!”自分が興味を持ったことには妥協せず一生懸命やってみるべき」とのお言葉が送られました。

幹事を担当された学生の方々、参加された先生方、学生のみなさん、お疲れさまでした。



今年度最初のスタッフミーティングを開催しました

6月5日（月）に今年度第1回目のスタッフミーティングを開催しました。今回は周術期口腔ケアセンター長の和田尚久先生にもご参加いただき、自己紹介や今年度の予定についての話をしました。

日頃は忙しく、なかなか顔を合わせる機会が少ないこともあり、参加したきらめきスタッフたちと集合写真も撮影しました。



九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1
TEL・FAX：092-642-5203
E-mail：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp



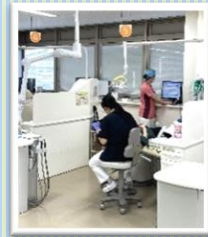
九州大学病院周術期口腔ケアセンターを

センター長の和田 尚久先生にご紹介いただきました！

～きらめきスタッフ（歯科医師）も頑張っています～

本院歯科部門に設置されています周術期口腔ケアセンターときらめきプロジェクトとの関わりについてご紹介いたします。

周術期口腔ケアセンターは2014年に院内に設置され、入退院周術期支援センターおよび医科歯科の専門診療科と連携をとりながら、入院患者の口腔管理を担っています。具体的には、入院患者の合併症予防を目的として、手術や治療の前後に口腔診査を行い、口腔からの細菌感染の予防や口腔機能の管理、さらには治療の妨げになるような口腔疾患の治療を行っています。



当院歯科部門には12の専門診療科がありますが、きらめきプロジェクトメンバーの歯科医師は、それまでの自身のキャリアを継続する事を目的として、各々の専門とする診療科に所属し、柔軟な働き方をしながら、大学での診療・教育・研究に携わっています。歯科部門の独自の取り組みとして、きらめきプロジェクトの全ての歯科医師に診療科での診療に加えて、周術期口腔ケアセンターにおいても定期的に診療を担当いただいています。センターとしては、異なる専門知識を持ったきらめきメンバーに診療担当していただくことで、マンパワーとしてだけでなく、診療内容の充実にも貢献していただいているというメリットがあり、協力に大変感謝しております。一方で、きらめきメンバーにとっても、専門的な知識だけでなく、周術期口腔機能管理の知識やスキルを研鑽できる良い機会となっているのではないかと考えます。

今後もきらめきプロジェクトメンバーによる診療協力を得て、Win-Winの関係を築きながら、良質な患者サービスを提供し続けていけることを願います。



日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します

卒後11年目の内科医師です。会社員の夫と子供二人(3歳6か月、1歳6か月)の4人家族です。卒後6年目から大学院に所属し、第一子を育てながら臨床研究にも携わっていましたが、結果を出せないまま、院4年目に第二子を出産しました。産後、同研究室の先輩からのアドバイスを受け、研究と診療を継続するためきらめきプロジェクトに応募しました。2022年4月からきらめきプロジェクトで勤務を始め、今年が2年目となります。

勤務内容は、大学病院の外来で週に1回専門外来を担当し、週3回外勤(うち月2回心エコー検査を担当)しています。出産前は循環器内科医として勤務していたこともあり、昨年は循環器専門医試験にチャレンジし無事合格しました。今年、高血圧専門医取得を目指しています。論文についてはデータの取り込みは完了し、勤務のない日に研究室や自宅で解析を少しずつ進めています。

私生活では、いやいや期を引きずる長男と歩き始めて動きの読めない次男にてんやわんやですが、幸い、勤務が比較的緩やかであることと、家事・育児に非常に協力的な夫のおかげで、笑顔で過ごすことができています。育休復帰の際、低月齢(当時4か月)の次男を預けることへの葛藤はありましたが、職場や夫の理解・協力もあり、心が楽になりました。家庭と仕事の両立は自分だけでは解決できないことの方が多いです。そのような中で、このありがたい環境を与えてくださっている研究室の先生方やきらめきプロジェクトの皆様、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

今年も自分なりの一歩を進められたらと思っています。



卒後13年目の小児科医です。公務員の夫と4歳2歳の男児の4人家族です。きらめきプロジェクトへは次男出産後、2022年4月より所属させていただいております。私は地元こそ福岡ですが九州大学出身ではなく、医局も出身大学である山口大学で卒後8年目までお世話になっておりました。長男出産を機に福岡へ戻っていたのですが、しばらくは福岡と山口を行き来しながら山口大学で学位を取得しました。その後の進路をどうするか悩んでいたところ、双方の小児科の教授から九州大学での勤務を勧めていただき、きらめきプロジェクトに応募することになりました。

小児科では内分泌グループに所属しており、週2回の専門外来と初診も担当させていただいています。週2回だけの勤務ですがグループ内でのカンファレンスだけでなく小児科全体のカンファレンスにもオンラインで参加でき、勉強の機会は意外に多いなと思っています。きらめきプロジェクトでは育児>仕事での育児と仕事の両立(しかも専門性のある仕事で)という贅沢な働き方を叶えていただきありがたく思っています。また地元である福岡へ戻ってきたものの、こちらで育児中の先生方がどんなふうに働いているか具体的なイメージがなく不安に思っていました。知り合いの先生がほとんどいない中でも、きらめきプロジェクトの活動報告やイベントで他の先生方がどんな働き方をしているのかを知る機会がありとても心強く思いました。

